

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	でまえ学び塾開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	飯島菜里		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自分の意志に基づいて、自分に適した手段や方法を選び、生涯を通じて学習を行い、生きがいのある充実した人生を送れるようにする。						
事業の概要	市民や市職員等の講師を集会所等に派遣する。講師料は無料、材料費等は自己負担となる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	29		29		30	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	利用者数	人	4,411	3,983	4,000	4,500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	でまえ学び塾の一覧から、市民が自分のニーズに合った講師を選ぶことができ、「いつでも」「どこでも」「だれでも」生涯学習にふれることができた。講師を務める市民にとっては、自分の学んだ成果を活用する場になっており、生涯学習の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生涯学習講座・大会開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	齋藤恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	生涯学習推進計画に基づき、協働の観点に立ち自立できる地域リーダーの育成を図る。						
事業の概要	“まちづくりリーダー”の育成を目的とし、連続講座を開催する。生涯学習振興大会を開催し、市民が生涯学習にふれる機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	996		924		1,330	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	市民大学延べ参加者数	人	131	43	65	130
	成果	生涯学習振興大会来場者数	人	400	300	250	500
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民大学は、学習支援等を行うために必要な基礎を学ぶための講座等を全4回開催した。生涯学習振興大会は、第二次さくら市生涯学習推進計画の「大好きなさくら市をもっと育もう」をキャッチフレーズに講演会等を11月に実施し、生涯学習の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学社融合促進事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	小学校や中学校は、地域（市民全体）が支え地域（市民全体）と共に歩むという意識が醸成される。						
事業の概要	学校・家庭・地域が一体で子どもを育てるため、地域学校協働本部事業を推進する。ボランティアの協力を得て、教員が子どもと向き合う時間確保と地域教育力の向上等を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	164		162		224	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	事業開催回数	回	473	500	500	500
	成果	地域学校協働活動サポーター	人	135	150	400	400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新たな活動が始まった学校もあり、学校支援ボランティア活動の拡大及び充実が図られた。ボランティア登録者数（氏小・喜小）は、150名程度を維持。令和2年度からは、全ての小中学校で地域学校協働本部事業を実施し、サポーター数は400名程度になっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館運営事業		事業開始年度	平成21年度			
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	君島昌彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	施設の利便性を高め、多くの市民に生涯学習の場を提供する。						
事業の概要	開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：毎月第1、第3月曜日、第3日曜日、年末年始						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	31,293	27,466	177,243			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		公民館年間のベ利用者数	人	64,147	58,399	30,000	70,000
		施設維持管理上の不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	築後40年が経過して老朽化した設備を修繕し、不具合等を防止した。また、老朽化に伴い、令和2年度に給排水等改修工事を実施するため、給排水等改修工事の設計を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館講座事業		事業開始年度	平成21年度			
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	君島昌彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自発的に学習ようになる。						
事業の概要	市民相互の仲間づくりを促進するために、公民館講座を企画し、氏家公民館と喜連川公民館の両館で実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	922	838	1,596			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	講座受講者数	人	2,847	2,670	2,100	3,000
	活動	講座実施後における自主グループ 設立数	団体	27	27	27	27
達成度の 評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座を中止したため、受講者が減少した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川公民館運営事業		事業開始年度	平成17年度			
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	早田勇			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	利用者の生涯学習意欲の高揚を図る。						
事業の概要	開館時間：9:00～21:30 休館日：第2・第4月曜日、第3日曜日、年末年始 体制：職員1名・会計年度任用職員1名、シルバー人材センター委託						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	12,307	17,155	14,249			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	利用者数	人	30,402	27,428	15,000	31,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	特に大きな苦情等もなく、前年並に多くの市民等に利用され、利用者の生涯学習意欲の高揚が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ゆめ！さくら博開催事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	齋藤恒夫		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	出店者が学習した成果を発表する場・還元する場、参加者が生涯学習に触れる場・体験できる場、市民同士のネットワークづくりの場として生涯学習の振興を図る。						
事業の概要	市民と行政の協働により実行委員会を組織し、10月（土・日）に氏家会場と喜連川会場（各体育館・公民館等）で開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,236		2,398		2,554	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	来場者数	人	5,553	7,138	3,000	6,000
	成果	出店者数	店（団体）	131	129	67	135
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	出店者は、展示・体験部門、発表部門、食のブースのいずれかで参加し、市民一人ひとりの自発的な学習活動の推進が図られるとともに、市民の学びの成果や行政の取り組み等を一堂に紹介することで、生涯学習への理解と学びのきっかけづくりとなった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	図書館管理事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	手塚詩織		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民の読書や調査・研究等の生涯学習活動に活用される。 子どもの読書活動が活発化される。						
事業の概要	平成27年度から指定管理者制度に移行した。施設管理ほか、資料収集、相互貸借、レファレンス業務、おはなし会や各種講座開催等の事業を市と協議の上、実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	98,715		97,938		106,850	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	年間貸出点数（図書、雑誌、AV資料）	点	306,493	301,306	304,500	304,500
	成果	年間講座参加者数	人	4,522	3,820	4,500	4,500
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間や提供サービスを短縮したため、貸出点数が減少した。また、同様に中止となった講座があったため、年間講座参加者数が減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	青少年センター事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	齋藤恒夫		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	青少年が様々な体験や交流を通して自分の良さを見つけることにより、青少年を健全に育成する。						
事業の概要	課内に青少年センターを設置し、青少年健全育成事業を行う。運営協議会委員、少年育成サポーター、少年指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,585		3,453		4,669	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	青少年センター事業に参加した人数	人	823	975	350	700
	成果	少年育成サポーター数	人	35	31	32	32
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	少年指導員少年育成が体験活動班、ICT研究班、広報啓発班、研修班を編成し、体験活動や研修会の開催、広報紙「夢咲楽～和輪話通信～」の発行、全体活動としてあいさつ巡回活動（小・中・高等学校）を行い、青少年健全育成の推進が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子ども会連合会育成事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	赤塚智衣		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	子ども会の活動が活発な事業を展開することで、市内の小中学生とその保護者が「体験活動」や「研修会」に参加する機会が提供される。						
事業の概要	子ども会活動や研修等に対し補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	359		359		359	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	活動日数	日	24	24	15	25
	成果	会員数	人	3,453	3,251	2,962	3,500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	さくら市子ども会連合会において、子ども会育成会との合同レクリエーション大会やワクワク体験キャンプなどの事業が行われ、子ども会活動の充実と育成会相互の連絡強調が図られた。補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ガールスカウト育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	飯島葉里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	青少年の健全育成を図る。						
事業の概要	奉仕の精神による青少年健全育成事業や地域活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	108		108		108	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	活動日数	日	62	38	70	70
	成果	会員数	人	19	22	25	25
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ガールスカウト栃木県第20団において、奉仕の精神をもって青少年健全育成事業や地域活動等が行われ、補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	飯島葉里		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	放課後の子どもの安全な居場所を提供し、地域の大人との交流を図る						
事業の概要	放課後に子どもの安心安全な居場所を設け、地域の協力を得て、スポーツ、文化活動、勉強等の交流を推進する。喜連川小（水曜日）、押上小（金曜日）で毎週実施している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	247		237		335	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	ボランティア登録者数	人	49	46	50	50
	成果	申込児童数	人	48	40	50	50
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	押小っ子ふれあいスクールと喜小っ子ふれあいスクールにおいて放課後子ども教室が行われ、自由遊び・物づくり活動・交流活動を通して児童と地域住民との交流が推進された。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ボーイスカウト育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	飯島葉里		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	青少年の健全育成を図る。						
事業の概要	奉仕の精神による青少年健全育成事業や地域活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9		9		9	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	活動日数	日	115	110	115	115
	成果	会員数		77	70	80	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ボーイスカウト塩谷連盟第8団において、奉仕の精神をもって青少年健全育成事業や地域活動等が行われ、補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら警察署管内少年指導員会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	飯島葉里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	さくら警察署管内少年指導委員会活動を活発化する。						
事業の概要	青少年の非行防止と健全育成を図るための活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	88		88		88	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	活動日数	日	26	26	30	30
	成果	会員数		20	16	20	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	さくら警察署管内少年指導委員会において、街頭補導や青少年健全育成活動が行われ、補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	リーダーズクラブ事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	飯島葉里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	高校生及び中学生が地域社会の一員としての自覚を高め、自己啓発や自己実現などの課題の達成をとおして、人間性豊かな青少年の育成を図ることを目的とする。						
事業の概要	子ども会活動への支援、市事業や各種団体事業への参加・協力、小学生との交流会の開催、各種研修会への参加を行い、将来地域で活躍する人材育成を図っている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	94		104		142	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	登録者数	人	44	44	55	55
	活動	活動日数	日	78	77	70	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	毎月3回の定例会及び役員会で、会長を中心にレクリエーションの練習や話し合いが行われ、子ども会行事や各種団体からの協力依頼にあわせて定期的・主体的に活動することができた。リーダーズ活動を通して、人間性豊かな青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育・家庭教育支援事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	高瀬亮			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	03	家庭教育支援の充実				
事業の目的	子育てに対する不安がより解消され、家庭でいきいきとした子育てができる。						
事業の概要	家庭教育を支援するために、家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアを中心に「家庭教育支援チーム」を組織し、家庭教育の重要性を啓発する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,185		1,008		1,626	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	家庭教育講座の実施回数	回	30	30	20	30
	成果	家族フェスタ来場者数	人	1,500	1,500	750	1,500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアに家庭教育支援に関する研修へ参加してもらい、地域人材を育成した。家庭教育に関する各種講座や啓発物を発行し、家庭教育の推進が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	齋藤恒夫		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	社会教育委員に社会教育に関する施策に対して意見・提言をいただく。社会教育指導員により、きめ細かい社会教育事業を行うことができるようになる。						
事業の概要	社会教育に関し諸計画を立案するため社会教育委員会議を開催する。社会教育指導員3名を配置する。社会教育委員、社会教育指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,424		6,405		6,538	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	社会教育委員会議出席者数	人	29	28	34	34
	成果	社会教育指導員による学級講座延べ参加者数	人	2,482	2,283	2,000	3,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	社会教育委員会議において、生涯学習課（公民館、図書館、ミュージアム）とスポーツ振興課の重点事業等について助言等をいただいた。社会教育指導員3名は、家庭教育・青少年教育・高齢者教育の3分野で各種講座等を担当し、社会教育の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	課外「さくらスクール」事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	子ども達の「気力・体力・学力」を総合的に育むため、多くの学びの機会を設け、前向きに努力する意欲あふれる子ども達を育成する。						
事業の概要	課外「さくらスクール」～さくら未来塾～を開設し、学力アップコース（小・中学生）と体験コース（小学生）により子ども達に多くの学びの機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,603		2,487		3,443	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	申込児童数	人	105	183	300	300
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学力コースにおいては学習サポーターの支援により、参加児童の学力アップを図ることができた。また、体験コースにおいては、児童が様々な体験を行うことで気力や体力の向上を図ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	